

教 育 課 程 等 の 概 要														
(薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程(4年制))														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
医療薬 学講義	医療薬学総合講義	1前	2			○			4	1				オムニバス
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			4	1	0	0	0	
高度専 門教 育科 目	病態解析・薬効制御学分野 病態画像診断学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
	薬効分子設計学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
	神経内分泌・栄養学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
	神経再生薬学特論	1・2後		2		○				1				隔年開講
	病態解析・薬効制御学演習	1・2後		2			○		3	1				隔年開講・ オムニバス
	薬物治療設計・管理学分野 急性期薬物治療管理学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
	生体分子解析学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
	感染制御学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
	免疫制御薬学特論	1・2後		2		○				1				隔年開講
	薬物治療設計・管理学演習	1・2後		2			○		3					隔年開講・ オムニバス
	医薬品解析・開発学分野 抗血栓薬開発学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
	食品生化学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
	抗体医薬品開発学特論	1・2前		2		○				1				隔年開講
	含金属医薬品開発学特論	1・2後		2		○				1				隔年開講
	医薬品解析・開発学演習	1・2後		2			○		2	2				隔年開講・ オムニバス
	社会環境薬学分野 腫瘍薬学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
	がん予防学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
	精神衛生薬学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
	環境・薬剤疫学特論	1・2後		2		○						1		隔年開講
	社会環境薬学演習	1・2後		2			○		2				1	隔年開講・ オムニバス
小計(20科目)	—	0	40	0	—			11	4	0	1	0	兼3	
医療薬学 実習	実践的医療薬学演習	1・2前	2				○		3	1				隔年開講・ 共同 隔年開講・ 共同(学内) 共同(学外)
	フィジカルアセスメント学内実習	1・2前	2				○		3	1				
	フィジカルアセスメント臨床実習	2後～3前	2				○		3	1				
	小計(3科目)	—	4	2	0	—			3	1	0	0	0	
博士論文 研究	課題研究	1～4通	12				○		10	4		1		
	小計(1科目)	—	12	0	0	—			10	4	0	1	0	
合計(25科目)		—	18	42	0	—			14	5	0	1	0	兼3
学位又は称号		博士(薬学)			学位又は学科の分野			薬学関係						
修 了 要 件 及 び 履 修 方 法								授 業 期 間 等						
<p>【修了要件】本課程に4年以上在学して所定の授業科目について30単位以上(必修18単位・選択12単位以上)を修得し、且つ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>(1)医療薬学講義について必修1科目、2単位を修得すること。</p> <p>(2)高度専門科目の特論について4つの分野の中から5科目以上選択し、10単位以上修得すること。</p> <p>(3)高度専門科目の演習について4つの分野の中から1科目以上選択し、2単位以上を修得すること。</p> <p>(4)医療薬学実習について必修2科目、計4単位を修得すること。</p> <p>(5)博士論文研究の必修12単位を修得すること。</p>								1学年の学期区分		2学期				
								1学期の授業期間		15週				
								1時限の授業時間		90分				